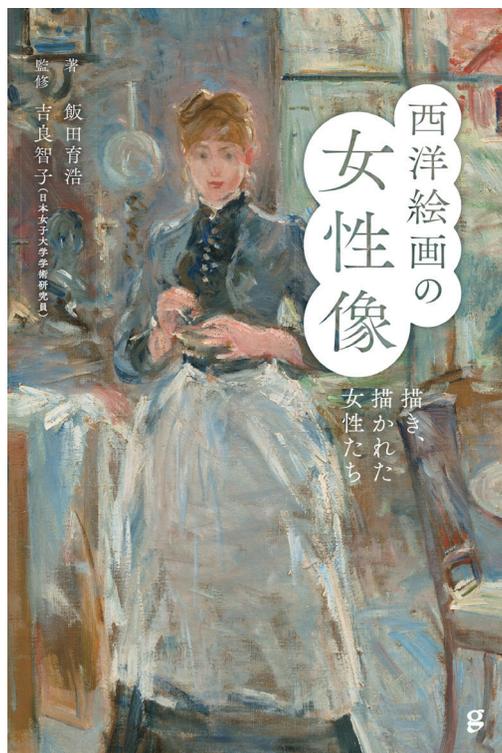


西洋絵画の女性像

描き、描かれた女性たち

飯田育浩(著) 吉良智子(監修)



不遇の時代も強い意志のもとに
描き続けてきた女性画家と、
芸術の名のもとに
画題とされ、鑑賞されてきた女性たち。
双方を知る、
あたらしい西洋絵画の本。

長らく西洋絵画に描かれる女性は、官能性や貞淑さを求められ、絵画には男性の欲望や価値観が色濃く投影されてきました。作品を評価する立場も男性が独占してきた歴史の中で、女性は画家として身を立てることも難しい時代も続きました。それでも描き続けてきた女性画家たち。それと同時に、絵画のなかに描かれたモデルをつとめた女性たちの姿からは、当時の社会背景や価値観を知ることができます。計130点の作品とともに、女性たちの歴史を絵画から見つめ直せば、きっとこれまでにない、あたらしい西洋絵画の一面が見えてくるはずです。

240ページ / 四六 / 定価：本体2,000円 (税別)
ISBN978-4-7661-4089-7 C0070 / オールカラー

[目次]

- Chapter 1 意志の絵画
- Chapter 2 裸婦像
- Chapter 3 女性画家
- Chapter 4 女性と仕事
- Chapter 5 女性と学問
- Chapter 6 女性と結婚
- Chapter 7 女性同性愛
- Chapter 8 女性と「母親」

コラム：

- ・日本美術の視点
- ・なぜ「魔女」は迫害されたのか？

130点

フルカラーで
わかりやすい解説



入門書にも
最適

地区	書店コード	書名	注文数
書店印		<p>新刊</p> <p>西洋絵画の女性像 描き、描かれた女性たち</p> <p>ISBN978-4-7661-4089-7 C0070 定価：本体2,000円 (税別)</p>	冊